

建設コンサルタント

株式会社 テクノシステム

TECHNO SYSTEM

Urban development considering the future
未来へつなぐ街づくり

ゆるぎない信念を持って 社会づくりに貢献しています。

私たちの生活は様々な「社会資本」に支えられて成り立っています。

それは道路や橋、鉄道や港湾、ダムや堤防・防波堤 等

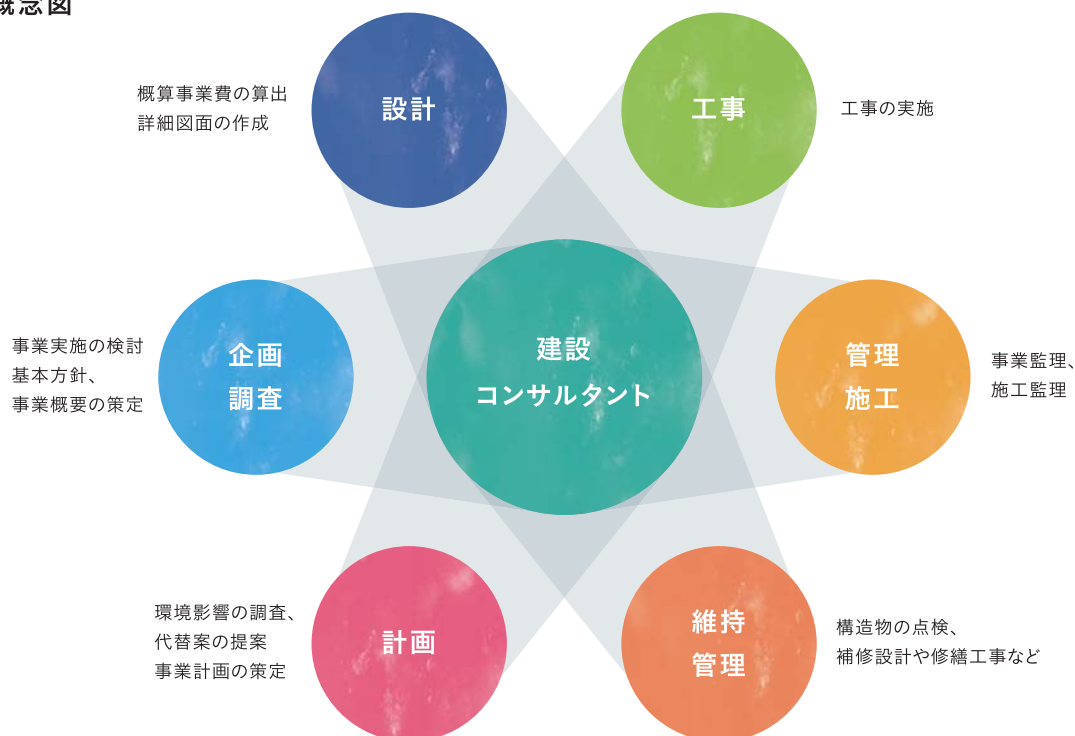
また、上下水道や廃棄物処理施設・リサイクル施設・エネルギー関連施設などもそうです。

これらは私たちの快適で安心安全な暮らしのために公共的に整備された社会資本です。

そして、私たちの建設コンサルタントの仕事はこれらの社会資本の整備にかかわる様々な課題に取り組み、
将来の社会・経済をも支える重要な役割を担っています。

これから先、私たちや子供、孫、さらにその先の世代へと長く安心して暮らしていけるように、
50年、100年先を見据えたプロジェクトを推進し、国や県・市町村のパートナーとなる
技術のプロフェッショナルとしての役割を果たしています。

建設コンサルタントの 概念図



ごあいさつ

小さな会社ですが大きな会社に負けない サービスを提供しています！

我が社は、平成2年(1990年)にそれぞれの専門が異なるわずか3人の土木設計技術者が集まって創業した会社です。

社名は、文字通り、「技術者組織」であり、相互に影響を及ぼしあう要素(技術者)が結合し、質の高い成果を創り上げる仕組み(組織)であっていい!という思いから名付けました。

このため、

- 1.高い技術力でお客様の信頼を得る
- 2.会社は人の集合体であり、人の和と個人の成長無くしては成り立たない
- 3.会社は社員の幸福は言うまでもなく、その家族の幸せも保証する

を我が社の企業理念としています。

おかげさまで、現在では創業50年を越えるような県内の老舗会社と同じように、建設コンサルタント業務を官公庁からも受注できるようになり、数々の社会資本整備をお手伝いさせて頂きながら日々成長させていただいています。

社会情勢が目まぐるしく変化している今日、建設コンサルタントの役割も

従来のストック形成のためのマネジメントから、

既存ストックの維持・活用、自然との共生、少子高齢化時代に対応した安全・安心な生活基盤整備等に視点を向けたマネジメントに移行しつつあり、

同時に業務の領域と内容もますます多様化・高度化してまいりました。

このため、弊社では、こうした社会変化に柔軟かつ迅速に対応するため、

企業体制を拡充・強化するとともに、常に最新かつ高度な技術力を確保することに

積極的に努めています。具体的には、国立大学法人や国立工業高等専門学校、

県立高校との共同研究を行ったり、各分野に精通した大学名誉教授、大学非常勤講師、

樹木医といった方々に当社顧問としてご指導を頂き、

これまで取り組んでこなかった新しい分野や技術にも挑戦しています。

近年は、波浪推算に関する愛媛大学との研究に加え、中国地方の数校の高専と

小型の気象計POTEKAを利用した研究や植物活性剤緑のミコット(フルボ酸)を活用した出雲農林高校との研究を行っています。

また、県内では珍しい大型のドローンを、遺跡調査や3D測量等に活用したりしています。

今後とも全社員一丸となって、

「小さくても大きな会社に負けないサービスを提供する会社」として、

地域社会や顧客に信頼される会社を目指していくつもりです。

是非とも我々と一緒に仕事をしませんか!



代表取締役

日野 幹雄

博士(工学)

建設コンサルタント

安心安全な暮らしのために、豊かな地域づくりや、美しく快適な街づくり、社会資本整備の充実など、総合的な建設コンサルタント業務を行っています。高度かつ専門的な知識を持った技術者たちが各分野において、幅広い技術サービスを提供しています。

鋼構造

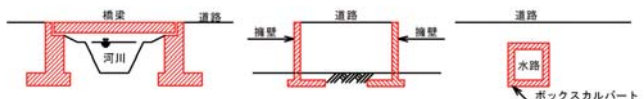


佐々木 和明

●RCCM(鋼構造及びコンクリート)測量士●一級土木施工管理士

どんな仕事をしていますか？

道路を造るために必要な構造物の計画や構造計算を行い、工事をするために必要な図面等の作成を行っています。道路構造物は主に道路面より下にあるため、道路が完成し利用される方にはわかりませんが、道路にとって最も重要な物です。川や道路を横断する橋梁が最もわかりやすいと思いますが、その他に、用地や斜面等の地形の制約により計画する擁壁、道路を横断する水路等のボックスカルバートなどもあります。



橋梁

今までで一番大変だったこと、うれしかったことは？

若いころは経験も技術力もなく、業務担当者の方にいろいろと教えてもらうことばかりで、恥ずかしい思いばかりしていました。担当者の方からの質問にはすべて答えられるように、夜遅くまでいろいろな資料を準備して協議を行うように努めていく中で、過去の業務の担当者の方から技術的な問い合わせをいただいたときは、うれしくもあり技術者冥利に尽きることだと思います。

ベテランから見てこれからテクノシステムに期待することは？

年齢・体力的にはベテランかもわかりませんが、技術的にはまだまだ勉強する事ばかりです。テクノシステムは少数精鋭で個々の持つ仕事への責任は決して小さくありませんが、その分やりがいがあり、自分達が会社を支え、創りあげていると実感できる会社だと思います。これからもさらに社員一人一人がより成長し、みんなで会社を創り上げる必要があると思います。

下水道・道路



木村 英之

●RCCM(道路、下水道、森林土木)測量士●一級土木施工管理士●一種下水道技術検定合格者●コンクリート診断士

どんな仕事をしていますか？

主に上水道や下水道の管の設計(管をどの道路の？どこに？どの深さに？どうやって入れるか？などの設計)をしています。その他にも、道路や治山施設の設計をしています。

仕事をするにあたって、どんな事に気を付けていますか？

実際に利用される人のことを思いながら、独りよがりな設計にならないよう心掛けています。そのためには、多くの人とのコミュニケーションが大切だなあと感じています。

問題や壁を乗り越える秘訣はありますか？

問題山積の僕にビツタリの質問だと思われたのですが、残念ながら、秘訣はありません。だから、いつも考えるようにしています。すると、家でリラックスしているときに問題解決の糸口が見つかる場合もあり、それがちょっとした快感でもあります。ただ、仕事には納期があるので、現在の立ち位置を考えて、誰かに引っ張ってもらったり、背中を押してもらったりする場合があります。幸い、テクノシステムには経験豊富な人材が揃っているので、問題に応じたアドバイスしてもらいやすい環境だと思います。

今後テクノシステムに入社してくれるであろう若者へひとこと。

利用される人に直接「ありがとう」と言ってもらえる仕事ではないのですが、多くの人が快適に暮らせるようお手伝いをする、やりがいのある仕事です。力に合ったステージを、成長できる活躍の場所を、そして次号のこのスペースを、用意して待っています！

港湾



藤原 由江

テクノシステムに入社して長いですが、やりがいと抱負をお願いします。

私の主な仕事はCADで図面を描いたり、それに伴った計算書を作ったりすることです。普段はパソコンの画面の中の小さな世界にいますが、以前に港湾の現場で実物のブロックを初めて見たとき、「自分が描いた図がこんなに大きなものになるんだ！」と驚きました。港湾の構造物は海の中に隠れて見えないものも多いですが、とてもスケールの大きな重要なものを作っているという自負心が芽生えたきっかけです。このように、地道な作業がどこかで必ず形になって残っていることが自分のモチベーションにもなっているので、これからも向上心を持って頑張りたいです。

港湾の技術者でもある社長と二人三脚でやってきて大変だったこと、良かったことは何ですか？

毎回一つの仕事を完成させるまでにはたくさんの時間と労力を使います。また、技術者ではない私に出来ることは限られているので、その分社長はさらに負担が大きいと思います。そんな中で、特に複雑で難しいと思う業務を終えられたときは達成感でいっぱいになります。

社長からひとこと

藤原さんは英文学科卒で、ニュージーランドへの留学経験があるような女性です。したがって、入社時にはエンジニアリングに関する知識や経験があった訳ではありませんが、今では港湾関係の各種設計シミュレーションやケーソンの配筋図といった非常に高度な技術が必要とする仕事も完璧に行ってくれています。私にとってはもはや単なる秘書やアシスタントではなく、我が社が港湾の設計を行うために必要不可欠な私の片腕です。



内港フェリーターミナル

地質調査

道路や橋梁、ビルなどの建設工事を行う前には、地質調査や設計が必要です。建設する場所の地盤が硬いか軟らかいか、地下水がどのように賦存しているかなどを把握するのが地質調査です。目に見えない地中の状況を物理探査や調査ボーリング、土質試験などで把握することにより、基礎の深さや補強方法、施工計画などを決定することが出来ます。



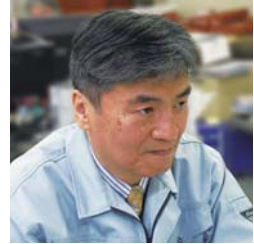
調査ボーリング実施状況

どんな仕事をしていますか？

地質調査では、資料調査による地形地質の概観把握、地表踏査、物理探査や調査ボーリング、土質試験などによる詳細調査、得られたデータを集計・整理し総合解析により地盤状況を把握するなどの業務を行っています。調査にあたっては、施主や地域住民の方々との意思疎通をはかると共に、安全・安心には十分に留意しています。

この仕事のおもしろいところは？

日本列島は2600万年前頃からユーラシア大陸から離れ、現在の位置に落ち着きました。隠岐では証拠となる汽水湖生物の化石などが発見されています。また、最終氷期の2万年前頃からは100m以上の海面上昇がありました。地質調査結果の分析と共に、岩盤形成や土砂の堆積過程を考え合わせ、地質・土質特性を解明することは非常に興味深く、これにより設計・施工に不可欠な基本情報を提供することができます。この仕事を通じて地域社会に貢献できる重要な使命だと考えています。



角田 恵二

●技術士/建設部門(土質及び基礎、河川砂防海岸海洋)、総合技術監理部門 ●RCCM/地質、下水道、農業土木、森林土木 ●地質調査技師/現場調査部門、土壌・地下水汚染部門 ●地すべり防止工事士 ●コンクリート診断士

資格取得について教えてください。

よく言われるのは、「初対面の方にも該当資格を表示することで、技術力を客観的に評価してもらえる」ということです。一方で、そのような期待を裏切らないように真摯な態度で業務にのぞむと共に、「不断の研鑽」や「崇高な倫理観」などが求められます。多くの知識を得たことで、業務を有機的・俯瞰的に捉えることが出来、設計部門のスタッフと共に事前に問題点を把握し対策を講じることが出来るようになりました。

補償コンサルタント

道路事業や河川事業等で補償の対象となる土地に存在する、建築物・立竹木・工作物などの評価、移転に伴う再建に必要な費用などを算出し、所有者や借家人等の関係人に生じる損失の補償の算定を正当に行います。



建物調査

どんな仕事をしていますか？

公共事業の施工に伴って用地取得が必要な場合に、支障となる建物等の調査を行い、適正な補償金を評価する業務を行っています。権利者のプライバシーに深く立ち入る業務であり、円滑に進めていくには信頼関係をどれだけ築けるかがとても重要だと考えています。用地取得がスムーズに進まなかったりすると工事もどんどん遅れていきます。そのため迅速な対応、的確な説明力というものを常に意識しています。

補償、測量のベテランですが、技術面で今と昔ではどのように変化しましたか

測量機器やソフトウェアの進化や新しい技術が年々進化しているためそれについて行くのが大変ですね。測量を始めたころは光波測距儀が出始めたころであり、計算ソフトも出始めた時期でした。距離を測る時も巻き尺を使用したりしていました。計算もほとんど手計算でした。電子野帳もないし、常に電卓での計算で…。今だに電卓を携帯していないと安心出来ません。最近は電子野帳に観測データを取り込みますので、殆ど手書きや計算はありません。平面測量においても電子平板(現地で図化)を使用しますし、非常に現場作業や内業が楽になりました。



須山 新治

●測量士補

テクノシステムならではの技術はありますか？

ソフトウェアを用いて航空写真等に図面を重ね合わせ、地権者や発注者に説明しやすく、また把握しやすい資料を提示するようにしています。ただ成果を作るのではなく、見やすく分かりやすくし、顧客が満足出来る成果品の作成を心掛けています。



測量

あらゆる建設工事において、まず最初に行う作業が測量。工事予定地の正確な位置(座標)・高さ・長さ・面積等を測定し、現況図面を作成します。測量結果によって、計画を決めるので正確性が要求されます。

どんな仕事をしていますか？

山の中から海の上まで、まちのいろいろなところで公共の構造物などを作るための測量をしています。山なら土砂災害を防ぐための構造物、海なら防波堤や岸壁、街の中なら道路や橋などどこにでも飛んでいきます!!例えば道路を作るための設計をするには、そこに家が建っているのか、高低差はどれくらいなのかなど、現状の地形を詳しく把握する必要がありますので、それを図面にするのが測量の仕事です。

若手社員としてこれからやりたいことはありますか？

3次元のデータやUAV(ドローン)など新しい技術がどんどん出てきているので、それらをうまく取り入れて出来る事の幅を広げていけたらと思っています。



原 康朗

●二級建築士 ●測量士補



テクノシステムのいいところをお願いします。

人数が多い会社ではないので、自分がこれをやってみたいと思うことは採用してもらえやすい環境だと思います。僕自身は堅苦しいのがあまり好きではないので、社内のわりと自由な雰囲気が気に入っています。



稲佐の浜でのドローンによる空撮



GPS測量



深浅測量

測量をしていて、うれしかったこと、大変なことは？

現場で地元の方から「ご苦労様」と声をかけられるのはうれしいですね。また自分が携わった現場の工事が無事に終わり、道路や橋、構造物などが完成しているのを見た時は感動します。一方、大変なことは、夏は暑く冬は寒いことですかね。天候や場所に左右されますが、四季を肌で感じながら仕事をしています。

テクノシステムに入社してよかったことは？

「CADを使った仕事をやってみたい」という思いで入社しました。土木は全くの素人で、ゼロからのスタートでした。測量課に配属され、何も分からない私を先輩方がやさしく教えてくれました。始めは現場が出来るか不安もありましたが、当社はひとりひとりが個性を発揮でき、やる気次第で何にでも挑戦させてもらえる環境がありましたと思います。

これからチャレンジしたいことはありますか？

測量は男社会のイメージが強いですが、私は女性だからこそ出来る気配りや、やり方があると思います。まだまだ勉強の日々ですが、いろいろな経験を積んで測量士の取得を目指しています。



新 恵伊

●測量士補

人材は最大の資源

従業員が働きやすい環境を整え、日々の業務の効率化やモチベーションがアップするように福利厚生が充実しています。



会社概要

● 商 号	株式会社 テクノシステム	● 代表取締役	日野 幹雄
● 設 立	平成2年11月2日	● 従業員数	30名
● 資 本 金	1,000万円		
● 事業所一覽	本社 〒693-0034 島根県出雲市神門町735-3 TEL 0853-21-7917 / FAX 0853-20-0511	雲南営業所 〒699-1312 島根県雲南市木次町山方649-1 TEL 0854-42-3837 / FAX 0854-42-3855	
	横浜支店 〒236-0045 神奈川県横浜市金沢区釜利谷南2-17-31 TEL 045-788-4201	隠岐営業所 〒685-0311 島根県隠岐郡隠岐の島町郡413 TEL 08512-5-9135 / FAX 08512-5-9136	
	大田営業所 〒694-0024 島根県大田市久利町久利988 TEL 0854-82-1321 / FAX 0854-82-1321	邑南営業所 〒696-0501 島根県邑智郡邑南町阿須那1174-1 TEL 0855-88-0006 / FAX 0855-88-0007	





建設コンサルタント

株式会社 テクノシステム

〒693-0034 島根県出雲市神門町735-3
TEL 0853-21-7917 FAX 0853-20-0511
E-mail info@technosystem.co.jp
<http://technosystem.co.jp>

